

ジャニーズファンのインフォーマル学習への意識とその学習成果の表れ
ー ジャニーズファンのファンコミュニティに着目してー

Johnny's fan's awareness of informal education and its outcomes

: Focusing on the fan community of Johnny's fans

学籍番号：201921660

氏名：潘 瑜

Pan Yu

近年、日本のアイドルは中国の若者の間で人気がある。特にジャニーズアイドルのファンが多い。中国のファンは日本のファン同様、ファン同士でコミュニティも形成している。

従来、アイドルグループのファンコミュニティは、学習との関係は薄いとみられてきたが、登坂 (2019) はインフォーマル学習の概念を整理し、ファンコミュニティにも該当すると指摘した。しかし、この研究はファンコミュニティでどのようなインフォーマル学習がなされているかは調査していない。他方、山内 (2013) によればインフォーマル学習には、生涯を通じた学習、生涯に渡る学習、生涯の深い学習という三種類があるという。また、魏、陸 (2014) は中国のジャニーズファンコミュニティで日本の「同担拒否」と全く逆の「同担受容」の傾向が見られると論じたが、個別のファンに掘り下げて調査していない。中国のファンコミュニティが同担拒否しない結果として、ファン仲間につくしたい気持ちが強まるため、インフォーマル学習が促進される可能性があるが、その点の調査もされていない。

本研究はジャニーズファンのライフストーリーに基づいて、なぜコミュニティに参加したのか、ファン活動はインフォーマル学習に相当するものとして捉えているかを明らかにするため、日中ジャニーズファン (日1名、中7名) に半構造化インタビューを行った。

調査結果より、多数の中国人は同担拒否をせず、情報を獲得・共有するため、ファンコミュニティに参加して、ファン同士と交流することが分かった。十分な情報があれば、ファンコミュニティのフォロワー、フリーライダーになりたいとの声が多かったが、情報不足の現実の中、ファンコミュニティで積極的に活動する人が多い。他方、日本のファンコミュニティのセグメント化と違い、中国のジャニーズファンのコミュニティは趣向や立場によって、細かく区分されたコミュニティがないことがわかった。また、中国のジャニーズファンは情報獲得や日本語学習が日常的に進行しており、LGBT への受容度や二次創作の意欲も高い。

中国のジャニーズファンは日本のファンと比べて、ジャニーズに関する情報量が圧倒的に不足しているので、同担に寛容であり、ファン同士と同担拒否せずに、協力し合いながらファンコミュニティへ貢献していると考察できる。そして、ファンコミュニティへの貢献意識が強ければ、インフォーマル学習への意識も高くなると考えられる。また、中国のファンは、ジャニーズに似た男性を恋愛対象とすることはあっても、ジャニーズアイドル自身を疑似恋愛の対象とする人はいなかった。このことも同担受容する大きな理由であろう。

研究指導教員：後藤 嘉宏

副研究指導教員：照山 絢子